

令和8年第2回定例会(9月議会)

観光文化スポーツ部

産業観光委員会 【議案関係資料】

9月8日提出

令和 8 年第 2 回 定例会（ 9 月 議会 ）
産業観光委員会・分科会
議案関係提出資料

令和 8 年 9 月 8 日
観光文化スポーツ部

【補正予算関係】

観光戦略課 物価高騰の影響に伴う指定管理者への支援につ 3
いて

インバウンド

・クルーズ誘客推進室 アジア市場誘客促進事業について 6

県産品振興課 日本酒県秋田プロモーション事業について 8

文化振興課 広域集客型劇場コンテンツ活用事業について 11

物価高騰の影響に伴う指定管理者への支援について

観光文化スポーツ部

1 目 的

公の施設の指定管理者に対し、物価高騰によりかかり増しとなった光熱費及び燃料費について、収入に占める指定管理料の割合（公費負担割合）に応じて助成する。

2 概 要

総務企画委員会提出資料（別紙）参照

3 対象施設

【利用料金併用制施設】

施設名	指定管理者名	予算額
秋田県立男鹿水族館	(株) 男鹿水族館	4,291千円
秋田県立体育館	(一財) 秋田県総合公社	904千円
向浜スポーツゾーン	(一財) 秋田県総合公社	8,963千円

4 予算額

14,158千円（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当予定）
（負担金補助及び交付金）

物価高騰の影響に伴う指定管理者への支援について

行政経営課

1 目的

公の施設の指定管理者に対し、物価高騰によりかかり増しとなった光熱費及び燃料費（光熱費等）について、収入に占める指定管理料の割合（公費負担割合）に応じて助成する。

2 補助金の概要

- (1) 対象者 ①指定管理料制施設の指定管理者
②利用料金併用制施設の指定管理者
※市町村及び当該施設の収支が黒字の指定管理者を除く
- (2) 対象経費 光熱費等の収支計画からの増加分
- (3) 対象期間 令和8年3月から令和9年2月まで
- (4) 補助額 公費負担割合に基づき算出

3 予算額（施設所管課の予算に計上）

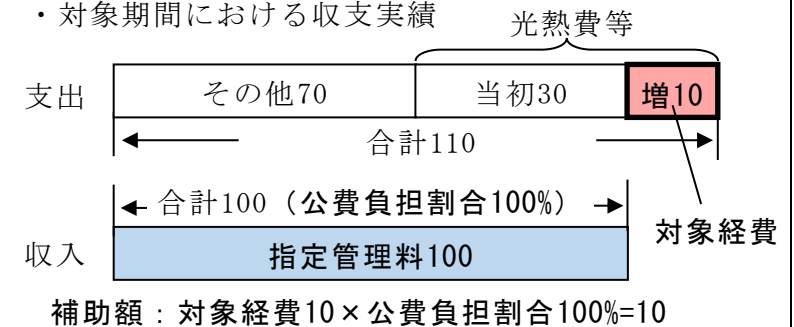
37,655千円（ $\ominus$ 37,655千円）

（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金充当予定）

<支援イメージ>

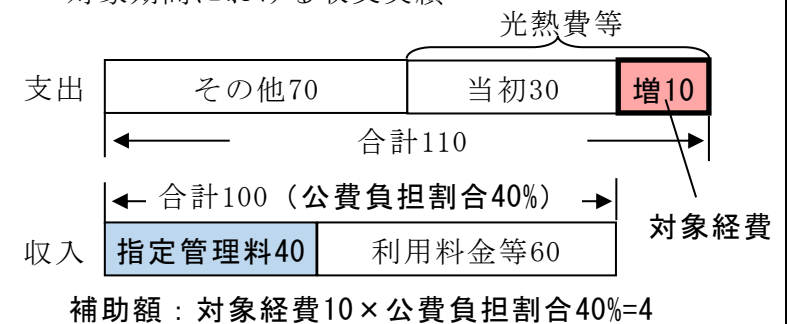
①指定管理料制施設の指定管理者

・対象期間における収支実績



②利用料金併用制施設の指定管理者

・対象期間における収支実績



4 予算額内訳

(単位：千円)

施設			指定管理者	所管課	予算額
指定管理料制	1	秋田県ゆとり生活創造センター	(特非)あきたパートナーシップ	地域づくり推進課	642
利用料金併用制	1	秋田県児童会館	(特非)あきた子どもネット	こども支援課	2,590
	2	秋田県立男鹿水族館	(株)男鹿水族館	観光戦略課	4,291
	3	秋田県立体育館	(一財)秋田県総合公社	スポーツ振興課	904
	4	向浜スポーツゾーン	(一財)秋田県総合公社	スポーツ振興課	8,963
	5	秋田県社会福祉会館	太平ビルサービス(株)	地域・家庭福祉課	2,063
	6	秋田県北部老人福祉総合エリア	(福)秋田県社会福祉事業団	長寿社会課	6,405
	7	秋田県南部老人福祉総合エリア	(福)秋田県社会福祉事業団	長寿社会課	5,602
	8	秋田県健康増進交流センター	河辺地域振興(株)	健康づくり推進課	4,255
	9	秋田県森林学習交流館	(株)サンアメニティ	森林環境保全課	1,597
	10	秋田県立中央公園	(一財)秋田県総合公社	都市計画課	343
合計(11施設)					37,655

アジア市場誘客促進事業について (インバウンド誘客拡大事業)

インバウンド・クルーズ誘客推進室

1 目 的

インバウンド誘客や県産品の販路拡大を図るため、7月の知事の香港渡航で関係を強化した在香港日本国総領事館や現地旅行会社等と連携し、トップセールスやプロモーションを展開する。

2 概 要

(1)「日本秋祭 in 香港 2026」(※)におけるプロモーションの実施

本県の認知度向上を図るため、西馬音内盆踊りを披露するほか、観光・物産ブースを設けて本県の魅力をPRする。

開催日：令和8年12月5日(土)・6日(日)

場 所：市内中心部のショッピングモール(予定)

※総領事館が中心となり2016年から毎年開催されている日本の魅力の発信イベント



物産フェアのイメージ

(2)「秋田産フェア in 香港」の開催

日本秋祭への出展に併せて近隣の現地小売店で物産フェアを開催する。

(3) 大手旅行会社のトップ層の招請

香港の大手旅行会社のトップ層を招請して本県の観光コンテンツを紹介することで、旅行商品の造成を促進する。



昨年度の日本秋祭の様子
(徳島県・阿波踊り)

3 予算額 19, 174千円
 (地域未来交付金 8, 257千円)
 (一般財源 10, 917千円)

(1) 「日本秋祭 in 香港 2026」におけるプロモーションの実施 13, 769千円

内 訳	委託料の内訳	
(・ 報償費 60千円)	(・ 日本秋祭への出展 5, 959千円)	
(・ 旅 費 2, 750千円)	(・ 西馬音内盆踊りの披露 5, 000千円)	
(・ 委託料 10, 959千円)		

(2) 「秋田産フェア in 香港」の開催

2, 570千円

内 訳	委託料の内訳	
(・ 旅 費 600千円)	(・ 会場設置費 551千円)	
(・ 委託料 1, 970千円)	(・ 県産品買上費 622千円)	
	(・ 輸送費等 797千円)	

(3) 大手旅行会社のトップ層の招請

2, 715千円

内 訳	委託料の内訳	
(・ 委託料 2, 715千円)	(・ 渡航費 1, 156千円)	
	(・ 宿泊費 682千円)	
	(・ 県内移動費等 877千円)	

(4) 事務費

120千円

内 訳
 (・ 役務費 120千円)

日本酒県秋田プロモーション事業について【新規】

県産品振興課

1 目 的

物価高騰の影響を受けている清酒製造事業者を支援するため、県産日本酒の付加価値向上と販路拡大に向け、地域G I 指定を見据えた日本酒県秋田としてのブランド力強化に向けた取組やプロモーション等を実施する。

2 概 要

(1) 県産日本酒ブランド力強化事業

「日本酒＝秋田」のイメージを定着させるため、県産日本酒に関する客観的なデータの収集や国内外の市場調査を行い、他県と差別化されたブランドストーリーの体系化に取り組む。

- ・事業内容

- ① エビデンス調査
- ② 消費者・バイヤー等調査
- ③ ブランドストーリー構築

(2) 日本酒プロモーション事業

地域G I の指定及び「日本酒県秋田」宣言を見据え、認知度向上と販路拡大に向けたメディアプロモーション等を実施する。

- ・事業内容

- ① パブリックリレーションズ
- ② 「日本酒県秋田」プレイベント（関西・東京・県内）

3 予算額 34,431千円（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

（1）県産日本酒ブランド力強化事業

15,044千円

内 訳

〔・委託料 15,044千円〕

委託料の内訳

〔・エビデンス調査 3,055千円
・消費者・バイヤー等調査 8,929千円
・ブランドストーリー構築 3,060千円〕

（2）日本酒プロモーション事業

19,387千円

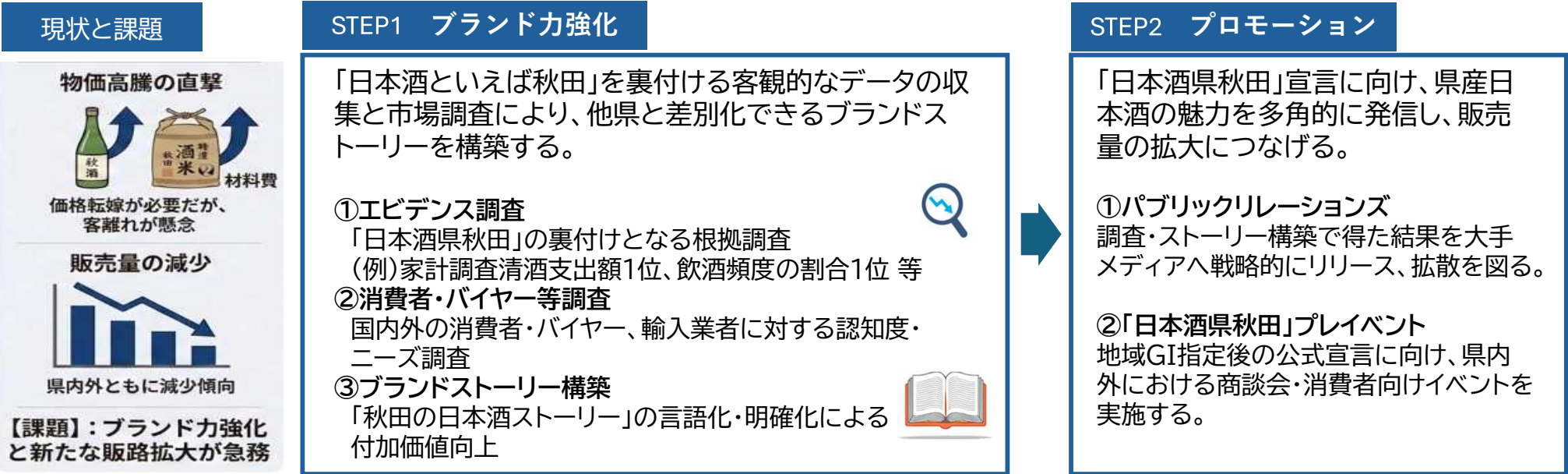
内 訳

〔・委託料 15,960千円
・補助金 3,000千円
・旅費等 427千円〕

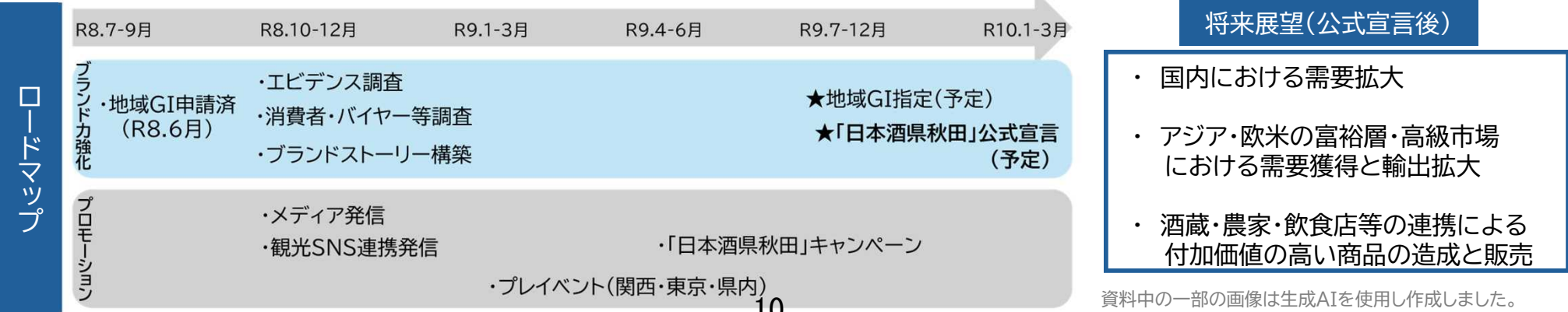
委託料の内訳

〔・パブリックリレーションズ 4,960千円
・「日本酒県秋田」プレイベント 11,000千円〕

地域GI指定を見据え、エビデンスに基づくブランド構築と国内外に向けた戦略的プロモーションの展開により、県産日本酒の付加価値向上と販路拡大を図る。



事業効果	1 価格転嫁の円滑化と酒蔵経営の安定	2 「秋田＝日本酒」の定着	3 観光への波及効果
	客観的根拠による、適正価格販売(価格転嫁)の実現と酒蔵の収益性改善	他県との明確な差別化及びトップブランドとしての確固たる地位の確立	インバウンド等の高付加価値旅行者の誘客拡大及び観光消費額の向上



資料中の一部の画像は生成AIを使用し作成しました。

広域集客型劇場コンテンツ活用事業について
(劇団公演を活用した交流人口拡大促進事業)

文化振興課

1 目 的

国内屈指の劇団わらび座によるノンバーバル（非言語型）ミュージカルの上演等を支援することにより、本県の文化芸術を広くアピールし、県外からの観光客やインバウンドの誘客につなげていく。

2 概 要

本事業は、企業版ふるさと納税制度による寄附金を原資として実施しており、今年度の寄附金の実績見込みにより、今後の公演や新たなミュージカルの造成等に要する経費に対して助成する。

(1) ミュージカルの東京公演

- ・「祭シアターLAB（ラボ）」8公演を予定
- ・公演期間中に民俗芸能のパフォーマンスなどの本県PRを実施

(2) 新たなミュージカルの造成

- ・本県の伝統行事等をモチーフとし、巡回公演が可能なコンテンツ

(3) 今後のスケジュール

令和8年10月～ 東京公演準備

12月 公演

12月～ 次作の脚本・音楽・振付制作等



祭シアターLAB（ミルハス公演）

3 予算額 38,600千円（寄附金）

内 訳	〔負担金補助及び交付金	38,600千円〕
	※当初計上額	16,400千円
	補正額	38,600千円
	補正後	55,000千円